

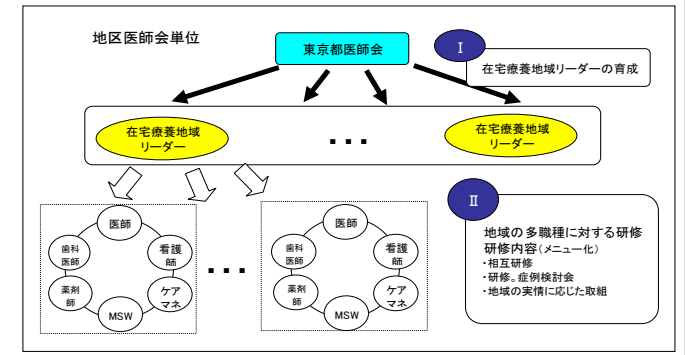
## 事業概要

### 【事業目的】

地域における、病院から在宅療養への円滑な移行機能の強化を図るため、地域の病院スタッフと在宅療養患者を支えるスタッフが、お互いの診療方針や医療提供の実情等について理解し合うとともに、顔の見える連携関係の構築を行う。

【実施機関】 公益社団法人東京都医師会(委託にて実施)

【実施期間】 平成26年度～平成28年度



## リーダー研修・地区研修

### I 在宅療養地域リーダー研修

東京都医師会が実施する研修等により、多職種連携強化のノウハウとスキルを持った、各地区医師会の「在宅療養地域リーダー」を育成

日時 平成26年9月7日(日曜日) 午前10時から午後6時まで

#### 内容

##### 【講義】

- ・地域包括ケアと在宅医療の果たすべきミッション  
(講師: 東京大学 高齢社会総合研究機構 准教授 飯島 勝矢氏)
- ・在宅医療の導入、緩和ケアに必要な知識、認知症ケアに必要な知識、介護保険制度の活用  
(講師: 東京都在宅療養推進会議 会長 新田 國夫氏)
- ・リハビリテーション  
(講師: 東京都リハビリテーション病院 地域リハビリテーション科科长 堀田 富士子氏)

##### 【多職種によるグループワーク】

在宅医療に必要な基盤整備、地域リーダーに望まれるもの

参加者 計 195名

医師(81名)、歯科医師(10名)、薬剤師(11名)、  
看護師(29名)、介護支援専門員(28名)、  
訪問看護師(11名)、行政職員(13名)、その他(12名)



### II 在宅療養地域リーダーによる地域の多職種連携に係る研修

東京都医師会により育成された「在宅療養地域リーダー」が、それぞれの地区において、地域の実情に即した多職種連携強化に資する研修を実施

研修メニュー 相互研修、研修・症例研修会、その他地域に応じた取組

実施状況 13地区医師会(予定含む。平成27年1月30日現在)

## 在宅療養推進シンポジウム

病院のスタッフと地域の在宅療養スタッフが在宅療養をめぐる情報を共有することで、都民が身近な場所で安心して適切に在宅療養を受けられるようにするために、「東京都在宅療養推進シンポジウム」を開催

日時 平成26年11月22日(土曜日) 午後2時から午後5時まで

テーマ 「在宅看取りを考える」

#### 内容

##### 【基調講演】「よりよい終末の場所を求めて～家で最期を迎えるということ～」

講師: 東京都在宅療養推進会議 会長 新田 國夫氏

##### 【講演】「それぞれの立場から考える在宅看取り」

- ・在宅医の立場から  
(八王子市医師会理事 数井 学氏)
- ・訪問看護の立場から  
(板橋区医師会在宅医療センター在宅看護部長 井上 多鶴子氏)
- ・患者・家族の立場から  
(中山 洋一氏)
- ・法律家の立場から  
(中京大学法科大学院教授、元大阪地裁判事 稲葉 一人氏)
- ・病院の立場から  
(医療法人社団温光会内藤病院院長 内藤 誠二氏)

##### 【パネルディスカッション】「これからの在宅看取りを考える」

座長: 東京都医師会 理事 平川 博之氏

アドバイザー: 新田 國夫氏

パネリスト: 講演者、福祉保健局医療改革推進担当部長

参加者 計 378名

医師(61名)、歯科医師(10名)、薬剤師(5名)、  
看護師(124名)、社会福祉士(36名)、  
介護支援専門員(36名)、訪問看護師(16名)、  
行政職員(42名)、都民(13名)、その他(35名)

